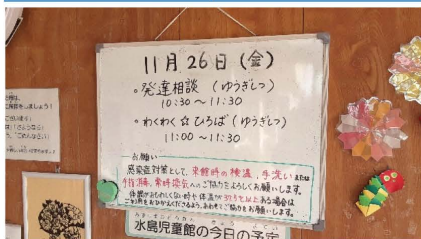


2.実施計画

④ 当日のスケジュール

事前の広報では、「子育て相談 10:30~11:30」「わくわく☆ひろば 11:00~11:30」で案内し、親子でふれあい遊びに参加したい人、特に子育てについて相談したい人など、時間帯に合わせて参加しやすいようにスケジュールを設定します。

10:00	<ul style="list-style-type: none"> ○遊戯室セッティング（遊びの準備） ○クムレの相談支援員と事前打ち合わせ ○参加者受付準備
10:30	<p>「子育て相談」開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊戯室で自由に過ごしている親子に相談支援員が声をかけコミュニケーションをとり、悩みや心配事など相談内容をヒアリングする。 ○相談内容や参加者の希望により、別室に案内し、個別に相談を受けることにも対応する。
11:00	<p>「わくわく☆ひろば」開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童館職員が親子で楽しく参加できる遊びを実施。相談支援員は、一緒に遊びに参加し、様子を観察しながら、気になる親子を確認する。
11:30	<p>活動終了後</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談支援員は館内に残り、気になる親子や館内に残っている親子に声をかけ、コミュニケーションを図りながら、相談のきっかけを作る。 ○遊戯室の片づけ、遊具の消毒等
12:00	<p>「情報共有ミーティング」で共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童館職員と相談支援員の両方で、気になる親子の様子や相談内容について情報を共有し、今後の対応について打ち合わせを行う。 ○相談内容を用紙に記録する。



2.実施計画

⑤ 親子ふれあい遊びの流れ（参考事例）

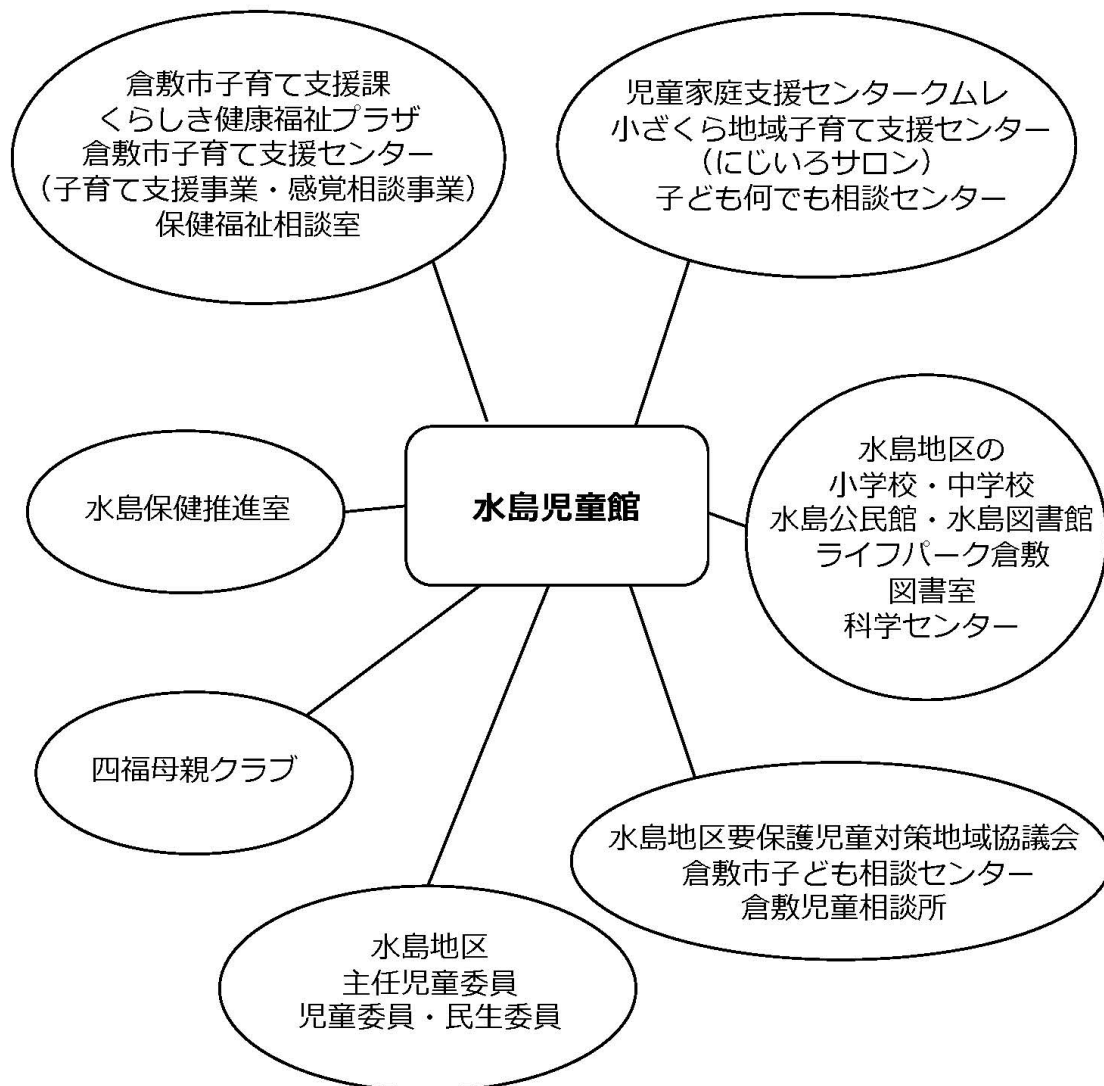
行事名	わくわくひろば		担当	補助
日時	令和 3 年 12 月 17 日（金） 11:00～11:30			
ねらい	親子でしっかりとふれあい、楽しい時間を過ごす。	内容	わらべうた・バラバルーン 製作「ブラコップツリー」	
参加人数	(乳幼児 人)(小学生 人)(中学生 人)(高校生 人)(大人 人)	合計	人	
時間	活動		準備物	
10:55	あそびのひろばの片付けをする	<ul style="list-style-type: none"> 片付けの声をかける。 曲を流して片付けを意識させる。 	アンブ CD	
11:00	◎はじまりの挨拶 「パンダウサギコアラ」 「はじまるよ」 ◎手遊び、わらべうた 「パン屋さんにおかいもの」 「おんまさんのおけいこ」	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちをひきつける 安心して活動ができるようゆっくり行う ※クムレの方も参加することを伝える 楽しい雰囲気の中、親子でしっかりとふれあう 	くまちゃん	
11:10	◎絵本 「いろいろサンタのプレゼント」 ◎製作「ブラコップツリー」 ・おはながみ(緑)を半分にちぎり丸める ※1人3枚 ・丸めたものをブラコップの中につめる ・厚紙でふたをし、セロテープでとめる ・飾り(☆, 丸シール)を貼る ・おりがみサンタをプレゼント	<ul style="list-style-type: none"> 見えにくい人は見える位置に移動するよう声をかける 見本を出し、作り方をわかりやすく説明する 1人分の材料 ※トレーにのせておく ブラコップ(小)…底に穴をあけ、モール(白)を通しセロテープでとめておく おはながみ(緑)…3枚 ※足りない人は追加する 星(両面テープつき)…1枚 丸シール…小:白7, 中:水玉5 厚紙…丸く切ったもの	絵本 トレー セロハンテープ 材料 ゴミ箱 おりがみサンタ	
11:25	◎バラバルーン	<ul style="list-style-type: none"> 上下左右, 下に入る 上に座る→ぐるぐるまわる ボールをのせて動かす 	バラバルーン ボール	
11:30	◎おわりの挨拶 「さよならあんころもち」	<ul style="list-style-type: none"> 次回, 1月28日(金) 		
【反省】				

2.実施計画

⑥ 地域資源との連携

地域資源エコマップ

相談内容により、子育て支援に取り組む地域の関係機関に繋げることが重要であり、地域資源を把握しておくことで、連携しながら適切な機関に繋げることができます。



2.実施計画

倉敷市水島地区における地域の関係機関

児童家庭支援センタークムレ	社会福祉士、臨床心理士、保育士等の専門スタッフによる子育て、家庭に関する相談
クムレにこここ😊教室	発達支援教室、発達相談
水島保健推進室	子育て支援拠点ミーティング、親子クラブの活動
小ざくら地域子育て支援センター (にじいろサロン)	保育士・社会福祉士等による子育て支援拠点事業、相談事業
ひろばにじいろ (地域の居場所)	三世代交流、地域の集いの場
保健福祉相談室	福祉機器の体験、福祉制度の紹介、資料提供等
くらしき健康福祉プラザ	言語聴覚士による言葉に関する相談、視能訓練士による見え方に関する相談、体重や身長測定と相談
倉敷市子育て支援センター	臨床心理士による特別相談、移動相談、発育測定等
水島地区要保護児童対策地域協議会	情報の交換や支援内容の協議
水島地区 民生委員・児童委員・主任児童委員	水島児童館の行事や活動の支援、妊娠中や子育て中の不安、悩みに関する相談や支援
四福母親クラブ	水島児童館の行事や活動の支援
妊娠・子育て相談ステーション すくすく	妊娠、出産、育児について専門スタッフ（保健師、助産師等）による相談
倉敷ファミリー・サポート・センター	一時的な子育てを助け合う事業
倉敷児童相談所	相談、調査と診断、措置、一時保護等
倉敷市総合療育相談センターゆめぼる	児童発達支援（療育）、日中一時支援、専門スタッフ（臨床心理士等）による相談
子育てスペース ピヨピヨひろば	地域子育て支援拠点
交流スペース ピョンピョンひろば	地域子育て支援拠点
第四福田幼稚園 子育て広場	子ども同士の遊びや、親同士の交流、子育て経験豊富なボランティアとの交流
連島南幼稚園 子育て広場	子ども同士の遊びや、親同士の交流、子育て経験豊富なボランティアとの交流
子育てサロン ももっこサロン（水島学区）	子育て親子の交流や仲間づくり

3.相談記録

① 記録用紙

水島児童館&児童家庭支援センタークムシ 「子育て相談」		
相談記録用紙		
相談者	ふりがな	性別 男・女
子ども①	ふりがな	性別 男・女 年齢 歳 か月
子ども②	ふりがな	性別 男・女 年齢 歳 か月
相談に至る経緯	他機関での相談の有無や対応について等	
相談内容	相談時の様子（保護者、子どもの観察）	
	相談申込理由	
	具体的な相談内容	
対応内容	様子から気づいた点・判断した点	
	助言や情報の提供	
	申し送り事項	
備考		
記録日	年 月 日	年 月 日
記録者	水島児童館	
	クムシ	

3.相談記録

「気になる」ポイントについて

児童館職員と相談支援員は、遊びのプログラムを行いながら親子の様子について観察したり、コミュニケーションをとりながら家庭や発達の様子をヒアリングしたりします。下記の点など気になるポイントは記録に記入しておきましょう。

- 身体・運動（体を使った動き、手先の様子、姿勢維持の様子 等）
- ことば（言葉遣い、独り言、多弁、言葉の遅れ 等）
- 行動（じっとしていることの苦手さ、ルールや行動へのこだわり、特定の行動を繰り返す 等）
- 人とのかかわり（親子のコミュニケーション、口や手など行動の出やすさ、指示が入らない 等）
- あそびの様子（一人遊びの多さ、特定の遊びへのこだわり、お友だちと遊ぶことの苦手さ 等）
- 保護者の様子（家庭の様子、子育てに関する困りごとや悩み 等）

記録を記入する際のポイント

事実を簡潔にまとめる、具体的客観的な記録になるように心掛けましょう。相談員の判断と対応・助言内容も区別しておきましょう。

日頃からの児童館の利用者なのか、案内や紹介を受けての来館なのかを確認します。過去にどこかの窓口などに相談した経験があるかなども聞き取れるとよい。

客観的な事実をできるだけ具体的、目づ、簡潔に整理して記入します。

助言や情報の提供を行った後、相談者の反応も記入できるとよい。

上記項目以外に、気づいた点やヒアリングした内容を記入します。

水島児童館&児童家庭支援センタークムレ 「子育て相談」

相談記録用紙

相談者	ふりがな	性別	年齢
		男・女	
子ども①	ふりがな	性別	年齢
		男・女	歳 か月
子ども②	ふりがな	性別	年齢
		男・女	歳 か月
相談に至る経緯	他機関での相談の有無や対応について等		
相談内容	相談時の様子（保護者、子どもの観察）		
	相談申込理由		
	具体的な相談内容		
対応内容	様子から気づいた点・判断した点		
	助言や情報の提供		
	申し送り事項		
備考			
記録日	年 月 日	年 月 日	
記録者	水島児童館	クムレ	

相談支援員自身が観察し、行動や発言などの見たままの事実を記入します。

相談支援員としての気づきや判断したことについて、申し送りの時に児童館職員とも認識の擦り合わせを行い記録します。

情報共有ミーティングで共通理解し、今後の対応等に関して児童館職員と相談支援員で擦り合わせた内容を記入します。

当日、対応した職員が記入します。

3.相談記録

② 個人情報保護における記録の管理

守秘義務

相談対応を行った記録は、重要な個人情報としての管理が求められます。記録をとることや、どこまでの関係者で情報共有するかなど、あらかじめ相談者の了解をとります。

- ① 相談者に相談内容について記録をとることを説明する。
- ② 記録は児童館とクムレで管理し、両者で情報共有することを説明する。
- ③ 記録をとること、関係者で情報共有することについて相談者に了解を得る。
- ④ 相談者が、相談内容を情報共有されることについて、抵抗を感じている場合は個別に確認をとり、どのような情報の管理が望ましいかヒアリングする。
- ⑤ ヒアリング内容も含め、相談記録用紙に記入しておく。

記録の管理方法

相談記録は、児童館職員と相談支援員が記入し、相談記録用紙はコピーをとって児童館とクムレの双方で保管します。センシティブな個人情報が記載されている為、児童館館長が個人情報の管理責任者となり取り扱いには細心の注意をはらい、記録の保管は施錠されたロッカーや引き出しで管理します。

相談者の様子について新たな情報が確認された場合は、記録用紙に追記していきます。

- ① 相談対応を行った児童館職員と相談支援員が相談記録用紙に記入する。
- ② 記録用紙はコピーをとって、児童館とクムレの双方で保管する。
- ③ 相談者の様子について新たな情報が確認された場合は、相談記録用紙に追記する。
- ④ 情報共有ミーティングにおいて、更新された内容を共有する。

4.情報共有ミーティング

相談内容の共有、相談支援員による助言

「情報共有ミーティング」の目的

「子育て相談」実施後すぐに、聞き取りした相談内容や気になる親子の様子について情報を共有する場を設け、相談支援員の専門的な見地からの助言も仰ぎます。また、必要に応じた関係機関に繋げることの検討や児童館における今後の対応に関してなど、子どもと保護者にとっての優先事項、必要な支援、合理的配慮、役割分担について、共通理解を図ります。

また、ミーティングでは対象の子どもや保護者について、発達の遅れや発達障がいの特性ばかりを確認するのではなく、それぞれのできること、頑張っているところにも着目し、親子に寄り添い見守る対応について話し合います。

親子に福祉的な課題があると判断した場合には、クムレをはじめ地域の関係機関等の必要な地域資源との連携により、適切な支援による早期発見・早期対応に繋がるようにします。

【主に情報共有するポイント】

- ・ 家族構成
- ・ 他機関での相談の有無や対応について
- ・ 相談時の様子（保護者、子どもの観察）
- ・ 相談申込理由
- ・ 具体的な相談内容
- ・ 様子から気づいた点・判断した点
- ・ 助言や情報の提供
- ・ 申し送り事項



-13-

宮古島市ひらら児童館 中学生・高校生世代

サード・プレイス

2021.10.13 ~ 12.24

OPEN

ひらら児童館サード・プレイスは、
中高生世代のためだけの特別な居場所。

運動でも、学習でも、読書でも。
したいことをしてもいいし、
なにもしなくたっていい。

まずは〜と覗いてみ！意外に面白いかもよ？

時間：毎週水曜日・金曜日 18:00～20:00(中学生は19:00まで)
期間：2021.10.13(WED)～2021.12.24(FRI)
料金：軽食、Wi-Fiも含めて利用は無料です
利用には登録が必要です。詳しくは、ひらら児童館まで。

※本事業は厚生労働省委託事業の一環で実施します。

サード・プレイスでは、軽食の提供とFree Wi-Fiが使えます！

実施：一般社団法人沖縄こどもみらい創造支援機構
宮古島市ひらら児童館

中学生・高校生世代サード・プレイス

電話：0980-73-1481 (宮古島市平良字東仲宗根807番地)



twitter 



LINE公式アカウント

友だち募集中

@893lrse
LINE@893lrse
0980-73-1481



Instagram 



OKINAWA.KODOMO.MIRAI